



トラウマの理解とケア ：被災した大人と子どもたち

講師 **金吉晴先生**

国立精神・神経医療研究センター
精神保健研究所 所長
精神保健研究所 行動医学研究部 部長
同研究所 ストレス・災害時こころの情報支援センター センター長

日時 **2020年11月1日（日）**

10：00-16：00

オンライン開催

Zoomを使用します

近畿ブロック臨床心理士会主催 第6回 被害者・被災者支援合同研修会

今年度の研修会では、金吉晴先生を講師にお招きし、「トラウマの理解とケア：被災した大人と子どもたち」をテーマにご講義していただきます。

被災した子ども（人）たち、特に急性ストレス反応や災害後のトラウマ反応などを示す子ども（人）の状態を理解し、必要なケア、特にトラウマのケアを中心に、現地で有効な被災した人に対する支援について学ぶ機会とします。

みなさまのご参加お待ちしております。

9：30 受付開始
10：00 開会
講義
12：00 昼休憩
13：00 講義
質疑応答
16：00 閉会

参加資格：臨床心理士

参加費：2,000円

定員：100名 締め切り：10月15日（木）（定員となった時点で締め切らせていただきます）

申込方法：以下のGoogleフォームよりお申し込みください。

<https://forms.gle/5YRg6sZbknJKUXT17>



- ・参加申し込み時のガイドラインに同意いただけない場合は受講できません。
- ・申し込み後参加費の振り込み先をお知らせします。振り込み確認後ZoomのURLをお知らせします。
- ・Zoomのダウンロード、通信環境や使用方法は各自にてご準備ください。
- ・開始直前は承認作業のため混雑する可能性がありますので、余裕をもってご参加ください。
- ・本研修会は臨床心理士資格更新ポイントの申請を予定しています。
- ・30分以上の遅刻・早退をされた場合は、研修証明書の発行はできません。
- ・問い合わせは、次のアドレスまでご連絡ください。 kinki.jws2020@gmail.com

金吉晴先生

昭和59年に京都大学医学部を卒業し、民間病院を経て平成2年より国立精神神経医療研究センターの研究者となり、室長を経て平成14年より部長。組織改編により、現在は精神保健研究所 所長、行動医学研究部長、ストレス・災害時こころの情報支援センター長を併任。この間、平成7年には在外研究としてInstitute of Psychiatry (London、英国) に滞在。京都大学より医学部学位を受ける。

平成9年にはペルー日本大使公邸占拠事件における医療救助活動への参加に対して、厚生大臣表彰。International Society for Traumatic Stress Studies理事、New York State University adjunct professorなどを歴任。

臨床活動

- ・PTSDの持続エクスポージャー療法 (Prolonged Exposure Therapy; PE) を日本で初めて導入し、公式マニュアルの翻訳出版を行い、米国認定指導者として毎年PEのワークショップを開催し、受講者は延べ500人を超え、20名あまりの認定治療者、数名の認定スーパーバイザーを育成。PEの保険適用認可に貢献。PEJapan会長。また厚労省のPTSD研修事業を主宰し、延べ7,000人以上が受講。
- ・災害対策としてWHOとの契約のもとに、心理的応急処置(Psychological First Aid: PFA)を日本に導入し、過去数年間で1万人がワークショップないし研修会を受講。

社会活動

災害等派遣：東日本大震災、新潟県中越大震災、和歌山カレー毒物混入事件、池田小学校児童殺傷事件、佐世保銃乱射事件、ペルー大使公邸人質占拠事件、キルギス邦人人質事件等
友愛福祉財団 HIV遺族実態調査検討会座長
宇宙航空研究開発機構人間を対象とする研究開発倫理審査委員会委員
被爆体験者精神影響等調査研究事業の在り方に関する検討会 委員 等

主要著作等

スキゾフレニア診断学の方法論的検討;精神神経学雑誌
トラウマの過去 (訳) みすず書房
心的トラウマの理解とケア (編集) じほう
PTSDハンドブック (監訳) 金剛出版 等